

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年9月21日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	丹波市	代表者名	林 時彦		
担当者部署	産業経済部	連絡先電話番号	0795-88-5115		
担当者役職	係長	担当者氏名	嶋崎 彰	連絡先E-mail	
住所	669-4192 兵庫県丹波市春日町黒井811				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	加藤 遼
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	何より知識とアドバイザー自らが実践された経験が非常に豊富であるので、お話の説得力がありました。また、人柄も良く、参加者からの質問にも自らの経験（成功事例）を例をあげながら、答えていただいたので、参加者が良く理解することができました。
アドバイザーへの要望事項	今回は1回の派遣でしたが、引き続き次年度以降も支援をいただきたいと思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年8月30日	支援・助言（実地）	有	令和4年9月20日	281
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年9月16日	支援・助言（実地）	9時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	420
3-2. 派遣場所	会場名	丹波市春日住民センター	最寄駅	黒井駅	
	所在地	丹波市春日町黒井811	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市職員、市観光協会理事及び職員、一般	20人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	
	市及び市の外郭団体である観光協会では紙媒体を中心に情報発信を行っているが、日々変わる観光情報を観光客に正確に届けられていない。また、業務量が多くなっている。ICTを活用した情報発信（DX）によって業務量を削減するとともに、観光客の満足度向上を図り、地域活性化を図る。	
	支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	
	観光を切り口に関係人口、定住者の増加、それによる地域活性化が丹波市にとっての目指すべき姿です。丹波市は中山間の地方部にあり、地理的に人口集中都市からの距離が不利となっているが、ICTやDXの普及は良い機会と捉え、ICTやDXの効果的な活用を図りたい。今回は市職員や観光協会理事及び職員を主要な参加者としていることから、基本的な考え方、目指すべき姿のベクトル合わせをアドバイザーの支援を受けながら実施したい。	
	アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	
	業務量を削減するという事は難しいことではなく、選択と集中をするということ。限られた資源をICTを活用しながら集中的に投下するという決断が必要。ICTを活用し、例えばアバターによる観光案内業務もできる。丹波市が目指す姿の実現のためには、「観光」や「旅」という考え方から、ワーケーションや二拠点居住など「旅するようにはたらく」という考え方が合っている。ワーケーション市は後々大きくなる。「豊泊・丹波市ワーケーション」が鍵。地域と旅行者を繋ぎ、観光で	

	アンケートは「後へ」ではなく、「展覧」・「観光」・「コワーキング」が鍵。地域づくりが出来る。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	農泊や民泊を推進し、コワーキングスペースを古民家を使って整備すると、旅の中で地域の人材、旅仲間を増え、協働・共創が生まれる。農泊や民泊は高齢者が事業をすることになると思うが、事業開始手続き、Airbnbなどへの掲載など中間支援を行うことが必要、その中間支援団体を観光協会が担えば、丹波市の地域づくりや課題解決が図れるのではないかと。 まち全体を宿泊施設、コワーキング施設として考えることも海外で先進事例があり、参考になる。支援、提案を受けた内容は興味深く、今後の施策、戦略に加えていきたいと考えます。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回は導入部分の支援であり、ICT活用の可能性を各参加者は理解いただいたと思います。市民や市内事業者だけでは思いもよらない斬新かつ魅力的な提案をアドバイザーから受けました。 この提案を元に丹波市や観光協会としてどのような事業を展開していくか、方向性を検討していきますので、早急な改善等にはなりません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者が市職員や観光協会であり、後日アドバイザーからの提案に対する事業実施の可否なども検討していく予定であり、今回はアンケートを実施していません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



